

危機管理部

危機管理部長 三谷 仁志

危機管理部の主たる業務は、各棟内の巡回、トラブル発生時の処理、各種クレームへの対応、職員からの各種相談対応、患者家族や職員の安全・安心のための各種施策の企画立案、閉庁時間帯の現金輸送警戒、警察からの各種問合せへの対応、南海トラフ巨大地震等の災害対策、防火防災訓練・災害医療講習会の補助等のほか、患者さんの搬送等の配車センターの運営です。昨年 1 年間の主たる取扱状況は下記のとおりです。

渉外関係

1	トラブル等による現場対応	131	件（月平均	10.9	件、対前年比	－38 件）
2	クレーム対応	48	件（月平均	4.0	件、対前年比	－11 件）
3	職員等からの相談対応	81	件（月平均	6.8	件、対前年比	－12 件）
4	迷惑電話	43	件（月平均	3.6	件、対前年比	＋10 件）
5	変死者の既往歴照会	91	件（月平均	7.6	件、対前年比	＋16 件）
6	留置人等の診療時警戒	0	件（月平均	0.0	件、対前年比	－ 2 件）
7	警察からの各種問合せ対応	30	件（月平均	2.5	件、対前年比	－13 件）
8	不在者投票者数	53	件（月平均	4.4	件、対前年比	－114 件）
9	拾得物対応	52	件（月平均	4.3	件、対前年比	＋12 件）

※ 特異事案としてトラブル発生に伴うコードホワイトを 1 回発動したほか、暴力事案 3 件、盗難事案 1 件、器物損壊事案 1 件が発生した。

災害対策／防火・防災管理関係

元日に発生した能登半島地震の被災地支援に 1 月 12 日～1 月 17 日まで当院 DMAT の隊員 5 名（Dr 1・Ns 2・Log2）が派遣され、石川県能登町にて病院支援活動を行った。9 月には、羽田空港などで行われた大規模地震時医療活動訓練（政府訓練）に当院スタッフ 4 名（Dr1・Ns

1・Log2)が参加した。また、院内での各種訓練も継続的に実施した。初の試みとして南海トラフ地震臨時情報が発令された場合を想定した災害対応訓練を11月に総勢41名で実施した。各部門や各職種からの視点で問題点や課題を抽出し、平時から出来る準備とは何なのかなどを中心にグループディスカッションした。

その他、法人としての近森会BCPを策定準備中であり、完成し次第、病院BCPと災害対策マニュアルも順次改訂予定である。

災害関連の研修については、クロノロジー記載練習など新たな研修を企画・準備中である。

【参加・実施した主な研修・訓練など】

- ・ 大規模地震時医療活動訓練(DMAT) ※ 羽田空港ほか
- ・ 高知県総合防災訓練(DMAT) ※ 香南市
- ・ 高知空港航空機事故対応総合訓練(DMAT)
- ・ 四国ブロック実動訓練(DMAT)
- ・ 高知市災害時通信訓練(管理部ほか)
- ・ EMISS入力訓練(管理部ほか)
- ・ 被災状況報告訓練(院内各部署) ※ 奇数月
- ・ 安否確認システム運用訓練(全職員) ※ 偶数月
- ・ 非常用ポータブル発電機起動操作訓練(管理部ほか)
- ・ 消防訓練(通報・消火・避難)
- ・ 自衛消防業務講習(本館防火管理者)

配車センター関係

2024年度の患者さんの搬送実績は下記の通り ※表①「患者さんの搬送・送迎件数」参照

・ 高知県内/県外搬送・送迎	5,754件(対前年	387件減) ※転入、転出含む
内ドクターカーの出動件数	124件(対前年	19件減) ※中継、不搬送含む
内近森救急出動件数	169件(対前年	31件増) ※中継、不搬送含む

2024年 患者さんの搬送・送迎件数

※1)近畿会グループ施設への転院や転棟、受診・検査による搬送を含む

※2)県外含む

表①

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	前年比
転院搬送	市内	22	28	21	15	13	15	15	14	9	23	11	13	199	102.58%
	市外※2	5	8	3	3	6	7	10	6	6	8	4	13	79	114.49%
施設内搬送※1		432	437	439	420	499	400	446	438	368	402	464	438	5,183	92.60%
ドクターカー出動件数		10	13	10	10	12	13	9	9	13	10	9	6	124	86.71%
近森救急出動件数		13	5	8	13	8	14	27	14	14	22	16	15	169	122.46%
計		482	491	481	461	538	449	507	481	410	465	504	485	5,754	93.70%